

ることである。これに対しては以前も同程度にあつたはずの十二指腸球部病変が、上記の理由で観察されないままになつていた可能性も考えられるが、一方、日本人においても欧米と同じような傾向が起りつつある可能性も考えられる。この辺りに考察を加えつつ典型的緊急内視鏡検査例の数例を報告した。

27. 窒息時における副腎皮質ホルモンの動態-GLUCOCORTICOID について—

(法医) ○猪熊 テイ・沢口 彰子
山下ケサ子・前川マリ子

当教室における窒息の生化学的研究の一環として、個体の生命維持のために微妙な役割を演ずる副腎皮質ホルモンのうち、糖質、タンパク質、脂質などの代謝に関与する糖質コルチコイドに属するコルチゾールについて、急性および慢性窒息時における動態を追究した。

実験方法：体重7～8kgの成犬にバルビタール麻酔をほどこし、固定、気管および頸静脈剝離などの操作後、2時間静置し、これら操作によるストレスの影響をのぞき、窒息前採血と窒息処置を行なつた。急性窒息実験は気管圧閉、慢性窒息実験は窒息箱により行ない、窒息処置後および窒息死後における血中コルチゾール濃度の変化を観察し、あわせて急性窒息時と慢性窒息時の、これらの変動の比較をも行なつた。

コルチゾール測定法はR U D D法によつた。

実験結果：本実験により窒息時の血中コルチゾール濃度の変動は、急性および慢性窒息いずれも窒息後に上昇のパターンを示した。

急性窒息時における血中コルチゾール濃度は、窒息前36.9 μ g/dl が窒息直後57.9 μ g/dl、窒息中期～後期77.3 μ g/dl、窒息死後40.4 μ g/dl で各期とも増加を示し、とくに中間期～後期において著明であつた。

慢性窒息時においては、血中コルチゾール濃度は窒息前43.1 μ g/dl が窒息死後 91.76 μ g/dl と著明に有意な増加を示した。

窒息時における血中コルチゾール濃度の変動は慢性窒息時の方がより著明であつた。

28. N-butyl-N-butanol (4)-nitrosamine によるラットの実験的膀胱腫瘍の凝固・線溶系

(泌尿器科) ○佐々木則子・梅津 隆子
吉田美喜子・河野 南雄・高橋 通子
増田 聡子・益子 五月

N-butyl-N-butanol (4)-nitrosamine (BBN) の経口投与により、Wistar系ラットにヒトの移行上皮癌類似の膀胱

腫瘍をつくりうる。

実験条件は異なるが、BBNによるラット膀胱腫瘍の凝固・線溶系を検索した。

1) 担腫瘍ラットは非担腫瘍ラットに比較し、血漿fibrinogen は増量の、線溶は活性化の傾向をしめした。staphylococcus clumping testによる血清FDGは(血清 β -Gとともに)組織の悪性度が増強するにつれて増量傾向を示したが、血漿線溶能との関連性はみられなかつた。

2) microcirculationを含む腫瘍組織は非腫瘍部に比して、fibrinogen は増量の、線溶活性は増強の、組織thromboplastin様物質の増量の傾向を示した。

29. 人成長ホルモン測定における負荷方法の検討(第II報)

(第二病院小児科) 森川 由紀子

第1報においては、小児科領域において、人成長ホルモン(HGHと略す)を測定する際に、比較的簡単に施行でき、危険性も副作用も少なく、反応率も良い、グルカゴン負荷による測定が、スクリーニングとしては、充分活用し得るものとして報告した。

今回は、前回検討を行なつたグルコース負荷、インスリン負荷、およびグルカゴン負荷に、一部アルギニン負荷を含めて、小人症をはじめとする各種疾患約30例と、先天性心疾患児約100例にHGH測定を実施し、それぞれの負荷方法を検討すると共に、その疾患自体のHGH分泌の状態を検討してみた。

30. Plasmodium berghei (NK 65) 感染マウス治療後の抗体価(蛍光抗体法)および再感染に対する防禦性

(寄生虫) ○脇 誠治・白坂 龍曠

マラリア流行地における感染の実態調査、およびマラリア感染の診断には蛍光抗体法による抗体価測定が有力な手段となつている。しかし抗体価と感染の時期および再感染に対する防禦性との関係についてはいまだ明らかにされていない。今回マウスを用い、Plasmodium berghei (NK 65)感染後、治療を行ない、蛍光抗体間接法(IFAT)による抗体価(IF抗体)の推移を経時的に追うと共に、防禦免疫との相関について検討を行なつた。また反復感染によつて抗体価がどのように上昇するか、およびその時の再感染に対する防禦性についても検討を行なつた。

P. berghei 感染赤血球 1×10^7 個をマウス腹腔内に接種し、3日後より連続4日間sultamonomethoxine, chloro-